



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第237号

2026年7月13日

「いつか外れるGPS。ずっと見ててね地域の目」

これを書いている今、放鳥まであと15日になりました。まだまだ先の話だと思っていたら、あっという間に残り約2週間で放鳥です。みなさんがこの通信を読む頃には残り1週間を切っていますね。天空の里で4羽のコウノトリを観られるのも、あとわずかですよ～！



さて、今回は放鳥前の大事な準備「GPS発信機」のお話です。

7月18日に放鳥する2羽のコウノトリ。どこへ飛んでいくのか、とても気になりますよね。でも、飛べない人間がコウノトリを追跡して居場所を調べるのはとても大変です。そこで今回利用するのがGPSです。GPSとは、人工衛星からの電波を利用して位置情報を測定するシステムです。GPS発信機を装着することで、パソコン画面を見れば地図上で居場所を示してくれ、離れた場所からでもコウノトリがどこへ飛んで行ったのかわ

かります。さらに、このGPSによる見守りがあれば、コウノトリの姿を目視できていなくても、移動データから生存を確認することもできます。

今回、天空の里で初めての発信機取り付けを行いました。足環装着の時同様、千葉県野田市の「こうのとりの里」の方に発信機を取り付けるための“ハーネス”の作成や実際の取り付け作業にご協力いただきました。



灰色の箱が発信機

ハーネスは専用の紐を使って手作りです



無事に取り付けられました！

鳥に人工的なものを取り付けるのは少し抵抗がありますが、得られるデータは大変貴重なものです。移動のデータをある程度収集できたら、自然と発信機が外れるよう、ハーネスには弱点を作っています。ある程度がどの程度の期間なのかは、まだわかりませんが…。

ここまでGPSについて書きましたが、データによる見守り以上に、コウノトリは地域の皆様の温かい見守りに支えられています。天空の里から飛び立つ2羽を野外で見かけたら、ぜひ教えてください。皆様からの見守り情報お待ちしております！

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：こば